



いちご いちえ ichigo 一笑

No. 8

令和5年
8月発行

鹿沼市 地域学校協働活動&コミュニティ・スクールだより



令和5年度、鹿沼市内全ての小中学校34校はコミュニティ・スクールとなりました。鹿沼市内には26の学校運営協議会（協議会）が置かれ、4月後半から6月下旬にかけて第1回の協議会が全て開催されました。

今年度もこのたより「ichigo 一笑」（鹿沼市 地域学校協働活動&コミュニティ・スクールだより）を通して、それぞれに関する情報（活動・運営のようす、研修会のようす等）を発信していきたいと思えます。皆様の取り組みの少しでもお役に立てれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



コミュニティ・スクール(CS)

（「学校運営協議会」を設置した学校のこと）



第一回の協議会において各学校の校長先生方は、ご自分の教育観を織り込みながら学校運営の基本方針をレジュメ・プレゼンソフト・掲示資料などを用い、説明されていました。



当日の会の流れは、26協議会ほぼ同じでした。委員さんの自己紹介では、司会者がお題を提示しエピソードを交えて進めていた協議会も多かったようです。20～30分はかかりますが、場の雰囲気は柔らかくなり、その後の協議がスムーズに進んだ印象がありました。エピソードには「小（中）学校の頃の自分（夢）」「最近食べて美味しかったもの」など、共通項があるお題がよりよかったです。



会場のつくり方は、コの字・ロの字・4人から5人のグループ等、委員さん人数や話し合いの進め方によってさまざまでした。



児童・生徒のようすの紹介については、授業参観・少年の主張参観、また協議会に児童・生徒を参加させ委員の皆さんと話し合いをした学校もありました。この話し合いは委員さんも児童・生徒も心を開きやすく有意義な時間を過ごせたようです。



協議会とは別に、学校の教職員や委員さん向けに学識経験者や県・市教育委員会CS担当職員を講師に迎えた研修会を実施し、コミュニティ・スクールの理解を深めた学校もみられました。

地域学校協働活動



「地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の 幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動のことで。鹿沼市内の小中学校では、特に地域のヒト・モノと関わる活動を「地域連携」とも表現しています。

野外観察

サマースクール

宝さがし

人形づくり



現在、鹿沼市の地域学校協働活動では、次のような目的をもった活動が展開され、それに伴って多くのボランティアさんが活躍されています。

- ・学習支援
- ・子どもたちの居場所確保
- ・体験活動
- ・さまざまな大人との交流 など

また、これらの活動に協力してくさっているボランティアさんを支えるため栃木県・鹿沼市の教育委員会はさまざまな研修会を開催しています。

放課後子ども教室



水あそび

研修会

～カメラを通して学校&地域の魅力を伝えよう～



～「こうやってやるんだ！学校運営協議会(模擬学校運営協議会)～」



発行：鹿沼市教育委員会事務局 生涯学習課生涯学習係 ☎63-3498
学校教育課指導係 ☎63-2236